

都市基盤分野 政策 2 「交流連携を支える交通環境の充実」

1 目指す姿

安全で快適に移動できる交通網が、市民生活や経済活動を支えている。

- ・ 歩行者や車両の道路環境が向上し、市民や来訪者が年齢や障害の有無に関わらず、安全で快適に移動している。
- ・ 円滑に移動できる公共交通網が構築されるとともに、駅などのバリアフリー化をはじめ公共交通の利用環境が向上し、市民や来訪者が快適に利用している。
- ・ 広域道路網が着実に構築され、播磨地域の産業や経済活動を支えている。

<課題解決が進まない場合>

市民や来訪者の移動の安全性や快適性が低下している。

- ・ 計画的な道路整備や維持補修、安全対策が進まず、交通事故のリスクが高まる。
- ・ 公共交通の利用者の減少により、交通事業者の採算が悪化し、路線の減便などサービス水準が低下する。
- ・ 広域道路網の構築が進まないことで、移動の定時性、速達性が向上せず、播磨地域の経済や産業の成長に遅れが生じる。

<参考> 現状分析・社会潮流（※基本構想原案には、重視すべき項目を中心に抜粋して記載）

		好影響	悪影響
内部環境 (地域特性)	強み (+)	別紙参照	弱み (-)
	機会 (+)		脅威 (-)
外部環境 (社会潮流・分野動向・市民ニーズ)	強み (+)		弱み (-)
	機会 (+)		脅威 (-)

2 目指す姿を実現するための方向性

<参考> 現総合計画の施策[第4次実施計画の該当ページ]

- A 都心部の魅力を活かした都市型観光の推進[P48]
(コミュニティサイクルの活用)
- B 行政手法の改革(公共施設の長寿命化の推進)[P81]
- C 地域特性を活かした市民活動の促進[P149]
(ひめじ街路樹アダプト制度の推進)
- D 公共交通網の充実[P150]
- E 広域交通網の整備促進[P151]
- F 地域内交通網の整備[P151]

3 市民、地域、企業・団体に期待すること

※ 姫路市まちづくりと自治の条例に規定する基本原則(協働の原則)に基づき、市民、地域、企業・団体それぞれの主体にまちづくりにおける協働をお願いするもの。

(審議会において) ご意見をいただきたい事項

- 1 「目指す姿」について
- 2 「目指す姿を実現するための方向性」について
 <主な検討課題>
 ア 快適な道路空間を創るためにできることは?
 イ 公共交通空白地・不便地における交通弱者を減らすには?
 ウ 公共交通の利用を促進するためには?
- 3 「市民、地域、企業・団体に期待すること」について

		好影響	悪影響
内部環境 (地域特性)	強み (十)	<p>【交通】</p> <p>① 公共交通空白・不便地解消に向けた交通施策の実施（コミュニティバス等の導入）</p> <p>② シェアサイクルなど自転車施策の推進</p> <p>③ 交通事業者間の垣根を超えた連携の推進</p> <p>④ 都心部の快適な歩行者空間（トランジットモール等）の創出</p> <p>【道路】</p> <p>⑤ 都市計画道路整備プログラムや鉄道駅周辺整備プログラムに基づく都市基盤の整備</p> <p>⑥ 幹線道路の歩道整備や自転車ネットワーク整備プログラムに基づく自転車道の整備</p> <p>⑦ 市内の交通事故数は減少</p> <p>【鉄道】</p> <p>⑧ 利便性向上による鉄道利用者の増加</p> <p>⑨ JR3新駅整備による駅周辺の活性化</p>	<p>【交通】</p> <p>① 市内各所で発生する交通渋滞</p> <p>② 路線バス利用者数の減少</p> <p>③ 公共交通空白・不便地の散在</p> <p>④ 国道2号の一方通行</p> <p>【道路】</p> <p>⑤ 管理する道路、橋りょうが非常に多い</p> <p>⑥ 道路、橋りょう数は毎年増加し管理費も増加</p> <p>【鉄道】</p> <p>⑦ 交通渋滞や危険の解消を図る必要がある「改良すべき踏切道」が姫路市道に6箇所存在する</p> <p>⑧ 利用者3000人未満でバリアフリー未対応の駅がある (3000人以上の駅が国のバリアフリー化整備目標の対象)</p> <p>⑨ 交通結節機能の弱い駅がある(駅前ロータリーやアクセス道路が未整備)</p>
	機会 (十)	<p>【全体】</p> <p>① 民間活力の活用によるインフラ整備、管理</p> <p>② 国によるコンパクト・プラス・ネットワークの推進</p> <p>③ 公共施設の長寿命化計画に対する国の支援</p> <p>④ 国土強靱化による鉄道施設等の耐震化への国の支援</p> <p>⑤ 交通バリアフリー法の整備など、国が積極的に弱者対策を推進</p> <p>【交通】</p> <p>⑥ 技術革新による自動運転支援技術の進化や新たなモビリティの開発</p> <p>⑦ ICTを活用した移動利便性向上の推進（MaaS(移動の最適化)）</p> <p>⑧ 高齢者の運転免許自主返納者に対する地方自治体や事業者等による支援 (バスやタクシーの運賃、施設利用の割引)</p> <p>⑨ 健康ブームによるスポーツ自転車ニーズの高まり</p> <p>【道路】</p> <p>⑩ ひょうご基幹道路ネットワーク整備計画の策定 (播磨臨海地域道路の整備促進・交通分散によるR250、R2バイパス等周辺道路の渋滞緩和)</p> <p>【鉄道】</p> <p>⑪ 東京2020オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）などに向けた鉄道事業者の多言語化等の取組</p> <p>⑫ 改正踏切道改良促進法による踏切対策の強化</p>	<p>【全体】</p> <p>① 全国的に都市基盤の老朽化が深刻</p> <p>【交通】</p> <p>② 人口減少に伴う公共交通利用者の減少</p> <p>③ 高齢者等の交通弱者の増加</p> <p>④ 公共交通の維持管理経費の増加</p> <p>⑤ 路線バスの収益悪化による減便、休止</p> <p>⑥ 交通事業者の乗務員の不足</p> <p>⑦ 高齢ドライバーによる事故割合の増加</p> <p>⑧ 利用者減少に伴う離島航路事業者の経営悪化</p> <p>【道路】</p> <p>⑨ 児童が巻き込まれるような重大な交通事故が全国で発生</p> <p>【鉄道】</p> <p>⑩ 利用者3000人未満の鉄道駅のバリアフリー化整備目標（国）がない</p>
外部環境 (社会潮流・分野動向・市民ニーズ)			<p>脅威 (二)</p>